

環境業界研究！スーパーエコタウン見学ツアーの開催について（報告）

1 名 称 環境業界研究！スーパーエコタウン見学ツアー～資源循環分野の仕事を研究しよう～

2 日 時 平成29年9月5日（火） 9時00分から16時30分まで

3 参加者数 17名（廃棄物処理業界への就職を考えている又は興味のある大学生・大学院生）

区分	募集人数	申込人数	参加人数	参加率
合計	30名	21名	17名	80.9%

4 開催内容

9:40	開会挨拶	公益財団法人東京都環境公社 常務理事 齊藤 和弥
9:45	業界研究講義	「循環型社会の形成に向けた産業廃棄物処理業の役割」
		公益財団法人東京都環境公社 常務理事 齊藤 和弥
10:25	施設見学	株式会社アルフォ（食品廃棄物飼料化・バイオガス発電施設）
11:25	昼食休憩	昼食休憩（移動時間含む）
13:10	施設見学	株式会社リーテム（廃情報機器類等リサイクル施設）
14:20	施設見学	高俊興業株式会社（建設混合廃棄物リサイクル施設）
15:30	意見交換会	先輩社員との意見交換会

5 使用資料 <配布物>

(1) 次第	1部
(3) 業界研究講義資料	1部
(2) アンケート	1部
(4) スーパーエコタウン見学会 リーフレット	1部
(5) その他各社資料（施設見学時）	1部

6 開催状況

【開会挨拶】



【業界研究講義】



【スーパーエコタウン施設見学 株式会社アルフォ】



(事業概要説明)



(先輩社員の業務紹介)



(施設見学の様子①)



(施設見学の様子②)

【スーパーエコタウン施設見学 株式会社リーテム】



(事業概要説明)



(施設見学の様子)



(質疑応答の様子)



(先輩社員の業務紹介)

【スーパーエコタウン施設見学 高俊興業株式会社】



(事業概要説明)



(先輩社員の業務紹介)



(施設見学の様子①)



(施設見学の様子②)

【先輩社員との意見交換会】

2グループ（各社先輩社員・公社事務局）に分かれて意見交換会を実施しました。各グループにて、先輩社員との質疑応答や学生の感想の発表、先輩社員からのアドバイス等の議論を行いました。



(意見交換会の様子①)



(意見交換会の様子②)



(意見交換会の様子③)



(意見交換会の様子④)

【集合写真】



7 アンケート結果（抜粋）

皆様からいただいた主なご意見を抜粋してご紹介致します。

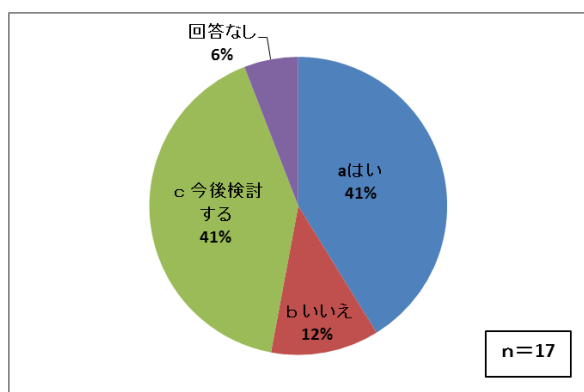
【見学会ツアーへ参加した理由】

- ・ 環境問題に興味があり将来環境保全に関わりたいと考えていたため、実際に廃棄物処理に取り組んでいる方々のお話を伺ったり施設を見学する機会は貴重である。
- ・ 中国から来ました。日本の環境循環に向けた政策を学びたい。環境に関する仕事もしたい。
- ・ 資源循環分野の仕事が実際にどのように行われているか知りたかった。
- ・ 現在廃棄物資源工学を専門に勉強している。将来、環境に関わる仕事に就きたいと思い今回見学ツアーに参加した。
- ・ リサイクルや資源の有効活動に興味があり大学でも環境系のサークルに入っている。リサイクル業界としてビジネスとリサイクルの両立の仕方について学んでみたい。実際の現場を見ることでその仕事内容や課題について知りたい。

【参考になった点】

- ・ 実際にその会社がどのような作業を行っているのか、説明や見学を通して学ぶことができた。
- ・ 今まで知らなかった点も多くあり、リサイクル事業の現状を学ぶことができ良い機会となった。
- ・ 色々な工場を見ることでそれぞれの役割や特色を理解することができた。
- ・ 座談会も年の近い方だったので質問をしやすいかった。
- ・ そもそもスーパーエコタウンの存在を知らなかった。具体的に工場の業務を知れたことで、自分の将来のことももっと突き詰めて考えてみようと思った。
- ・ 廃棄物処理業界のイメージが良い方向に変わった。

【資源循環分野への就職の検討】



項目	回答数	%
a はい	7	41%
b いいえ	2	12%
c 今後検討する	7	41%
回答なし	1	6%
総計	17	100%

【大学生・大学院生への資源循環分野のアピール】

- ・ 実際に現場に足を運ぶというのが一番効果的。埋立地が足りていないという現状を伝えることで危機感を持つことができる。
- ・ 興味や関心を高めることができるのは大学生や大学院生が実際的な資源循環の活動と作業に参加すること。
- ・ このようなツアーを東京だけでなく各都道府県で開催したらよい。
- ・ 今回のツアーのように自分の目で実際に見られるような機会があると関心が高まる。

- ・ (株)アルフォ様のビデオがとてもわかりやすく、YouTubeなどで配信するなどもっと広く知らせると良い。
- ・ 他の問題とも関わっていること、どのように関わっているのかという点から掘り下げると関心が高まるのではないか。
- ・ 「廃棄物」イメージを払拭するため、特に女性の活躍や働く方の活躍をアピールしたりポジティブな面をアピールすることが効果的。
- ・ 日常においてこの分野について知る機会が減多にないので情報発信の場や量を増やしていくと良い。

【その他】

- ・ 環境業界に興味がある人にとって、本当に魅力的なツアーだと思う。ぜひこれからも続けて欲しい。
- ・ 先輩社員の生の話が聞けたり、最先端の技術を見ることができてとても刺激を受けた。これからの就職活動に活かしたい。

以上